



▲松栄丸は2隻で稼働中、ヒラメ専門などへも出船する

●取材日は最大1キロ級にとどまったが3〜5キロ級にも期待できる

●両狙いとばかりではないながらもメインはマハタ



●当日は海況が悪く小型だけになってしまった



●根掛かりに注意しながら釣っている



●マハタはヒラメよりも沖合のポイントを狙う

撮影●粕川 豊
外房大原港出船

シーズンはこれから 大原のマハタ&ヒラメ



▲仕掛けはハリス6号のヒラメ用でOK



▲オモリ80号に生きイワシエサを狙う

外房大原で人気の釣りがマハタとヒラメの両狙い。ポイントは大原沖の水深25〜50メートル前後で、マハタとヒラメを狙い分けるといふ感じではなく、主に根の荒いマハタのポイントを狙いながらヒラメも交じってくるという展開になる。

取材日はあいにくの悪天候でヒラメは交じらず小型のマハタだけで早揚がりとなってしまったが、いい日にはマハタ、ヒラメとも3キロ級が釣れることもある。シーズンはヒラメ同様5月の連休まで。一挙両得を狙いたい人におすすめだ。

(詳細は44ページ参照)

MAHATA & HIRAME



●外房大原港・第一松栄丸
中井 一也船長